

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公開番号】特開2008-2469(P2008-2469A)

【公開日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2007-162153(P2007-162153)

【国際特許分類】

F 0 4 D 29/56 (2006.01)

F 0 1 D 17/16 (2006.01)

【 F I 】

F 0 4 D 29/56 D

F 0 4 D 29/56 C

F 0 1 D 17/16 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年4月9日(2012.4.9)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、この目的は、ターボ機械のケーシングの中ぐりに取り付けられた、ターボ機械の可変ピッチステータ翼のピボット用の軸受により達せられ、軸受は、前記ピボットに固定される内側ブッシングと、前記中ぐりに固定される外側ブッシングとを含み、内側ブッシングと外側ブッシングとの間に挿入されたエラストマー材料により、軸を中心として翼を回転可能にし、また、この軸に垂直に少なくとも部分的にピボットのたわみを吸収可能にする。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 6 】

ピボットは、プラットフォーム 13 の端部にある軸受 4 と、ロッド 19 の端部にある軸受 20 とにより支持される。図では羽根を省いてある。本発明は、軸受 20 に関する。この軸受は、ケーシング 3 の中ぐりに締められる外側ブッシング 21 からなる。従って、外側ブッシングは円筒形であり、中ぐりの外縁に載置する横方向のフランジ 21 A を備えている。このフランジは、ケーシングと、ロッド 19 との間に挿入される。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 7 】

互いに軸方向にわずかな間隔を置いて配置された 2 個の円筒要素 22 A、22 B からなる内側ブッシング 22 は、ピボット 14 に締められる。この内側ブッシングは、外側ブッシング 21 と同じ長さで軸方向に延びている。